

～令和4年度～

青少年のネット利用実態調査結果

令和5年1月

大分県生活環境部私学振興・青少年課

大分県教育庁学校安全・安心支援課

目 次

○ 令和4年度「青少年のネット利用実態調査」結果について	P 1
○ 別紙		
1 青少年のインターネット利用機器・利用率	P 5
2 スマートフォンの利用について	P 6
3 青少年のインターネット利用内容	P 7
4 青少年のインターネット利用時間	P 10
5 青少年のインターネット利用による生活の変化	P 12
6 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談	P 14
7 フィルタリングの利用状況等	P 20
8 家庭でのルール	P 21

令和4年度「青少年のネット利用実態調査」結果について

1 調査目的

近年、青少年の周囲にも普遍的にインターネットが普及することにより利便性が高まる反面、インターネットに係るトラブルや事件に巻き込まれる問題が発生しており、ネット依存など生活習慣への影響も危惧されている。

これらを未然に防止し、かつ青少年の情報活用能力を高めるためには、インターネット利用状況や活用方法、トラブル事例などに加え、保護者の認知状況などの実態を把握したうえで今後の施策に反映することが重要であるため、子どもの利用実態や保護者の意識等を調査する。

2 調査対象

調査は、県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒 1,500 人とその保護者 1,500 人の計 3,000 人を対象に行った。対象の学校は、地域に偏りが無いよう抽出した。

今年度の調査票の配布数と回収率は表のとおり。

(表 調査票の配布数と回収率)

		小学2年	回収率	小学5年	回収率	小学生	回収率	中学2年	回収率	高校1年	回収率	総数	回収率
児童生徒	配布数	239人		262人		501人		499人		527人		1,527人	
	回答数	236人	98.7%	269人	102.7%	505人	100.8%	463人	92.8%	508人	96.4%	1,476人	96.7%
保護者	配布数					501人		499人		527人		1,527人	
	回答数					428人	85.4%	327人	65.5%	412人	78.2%	1,167人	76.4%

3 調査方法

対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票（小学生・中高校生・保護者の3種類）を作成し、紙面による調査を行った。

4 調査時期

令和4年9月

5 調査内容

調査は主に大きく分けて以下のような項目で行った。

- (1) インターネットを利用する機器、内容、環境
- (2) インターネット利用による生活の変化
- (3) インターネット利用時のトラブル等と相談
- (4) フィルタリングの利用状況と家庭のルール
- (5) 保護者自身のインターネット利用に関すること

6 調査結果の概要（調査結果の数値は「別紙」のとおり）

- (1) 青少年のインターネット利用機器・利用率
 - 全体で95%以上の子どもたちがインターネットを利用している。
 - 利用機器は、小学生はテレビ、中学生・高校生ではスマートフォンが最も多い。
 - 小学生も半数以上がスマートフォンを利用している。
 - 小学生・中学生は、ゲーム機・テレビでのインターネット利用が増加している。
 - 保護者は、ほぼ全員の子どもがインターネットを利用していると認識している。
- (2) 青少年のスマートフォンの利用について
 - 中学生は70%以上、高校生はほぼ全員が自分専用のスマートフォンを利用している。
 - 前年調査と比べて、自分専用のスマートフォンを利用している中学生が大きく増加している。
(R3 : 48.3%⇒R4 : 73.3%、参考 : R2 : 71.7%)
 - スマートフォンの利用開始時期は、高校生は「中学生から」が約半数となっているが、中学生は約4割が「小学生から」と回答している。
- (3) 青少年のインターネット利用内容

- インターネット利用内容は、小学生では「ゲーム」「動画視聴」「音楽視聴」の順（昨年と同じ）に、中学生では「動画視聴」「SNS」「情報検索」の順（昨年「動画視聴」「情報検索」「ゲーム」）に、高校生では「動画視聴」「SNS」「情報検索」の順（昨年と同じ）に多くなっている。
 - 年齢層が上がるにつれ、「SNS」の利用率が増加している。
 - 利用するサービスは、「動画視聴」が最も多く、全体の85%以上が利用している。
 - 利用しているソーシャルメディアは、中学生では「YouTube」「LINE」「TicTok」の順（昨年と同じ）に多く、高校生でも「LINE」「YouTube」「Instagram」の順（昨年と同じ）に多くなっている。
 - 中学生で「LINE」（R3：67.8%⇒R4：82.3%）Instagram（R3：41.2%⇒R4：52.2%）Tik Tok（R3：56.1%⇒R4：62.6%）が増加している。
 - スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに「分からないことを調べる、情報収集」「家族や友達との連絡手段」「趣味を楽しむ」「家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ」が上位であり、「暇つぶし」で利用している生徒も約6割程度いる。
 - SNS利用時、中学生・高校生の約8割が「他人の悪口を書いたり侮辱しない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」等に気をつけている。
 - SNS利用時、「特に気をつけていない」という子どももいる。
- (4) 青少年のインターネット利用時間
- 平日に2時間以上ネットを利用しているのは、小学生31.3%（R3：32.9%）中学生62.8%（R3：46.4%）高校生68.6%（R3：61.0%）であり、小学生は微減、中学生と高校生で増加している。
 - 中学生は、「使わない・30分未満」「30分～1時間未満」「1時間～2時間未満」の項目が全て減少し、「2時間～3時間未満」「3時間～4時間未満」「4時間以上」の項目が全て増加しており、2時間以上の利用時間が全体で約16ポイント増加している。（子ども回答）
 - 中学生と高校生ともに、昨年度に比べ、4時間以上の利用が顕著に増加している。（子ども回答）
 - 保護者が把握している子どもの利用時間よりも実際の子どもの利用時間が多く、小学生で8.6ポイント、中学生では16.6ポイントの差がある。
- (5) 青少年のインターネット利用による生活の変化
- 子どもと保護者を比較すると、子どもの方がインターネット利用により「友人関係が良好になった」「友達が増えた」「分からないことを自分で調べるようになった」などと良い（プラス）傾向を示す回答が多い。
 - 「使いすぎ・依存の傾向がある」と回答したのは、中学生が28.8%（R3：21.3%）高校生が34.3%（R3：36.8%）で、保護者のうち小学生が36.0%（R3：39.8%）中学生が46.8%（R3：36.1%）高校生が44.4%（R3：41.8%）であり、子どもの約3割、保護者の約4割はインターネット利用時間について課題意識を持っている。
- (6) 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談
- 子ども・保護者ともに、約9割がトラブルの経験はないと回答している。
 - トラブルの内容のうち、子どもは「知らない人やお店等からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた」「悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ」「SNSなどやりとりで嫌な思いをした」が多い。
 - ネット利用時の相談先については、家族や友人が多い。
 - 「消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察」への相談はない。
 - 「トラブルはあるが誰にも相談しなかった」子どもが全体で21%いる。
 - 相談しなかった理由は、全体では「自己解決した」が最も多い。
 - 中学生では、「相談するのが恥ずかしかった」「相談することで問題が大きくなると考えた」もあり、隠したがる傾向も見られる。
 - 約3割の子どもが「解決していない」「分からない」と回答しており、トラブルの解決には至っていないものもある。
 - 「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」子どもは、中学生34.8%（R3：32.4%）高校生52.9%（R3：52.8%）であった。（子ども回答）
 - 「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生3.2%・15人（R3：3.1%・14人）高校生7.1%・36人（R3：5.3%・26人）「異性に会った」が2.8%・13人（R3：0.9%・4人）、高校生5.3%・27人（R3：2.2%・11人）であった。
 - 「会ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生7.1%・33人（R3：6.9%・31人）、高校生7.9%・40人（R3：6.1%・30人）であった。（子ども回答）

- 会ったことがない人とやりとりすることについて、「会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う」が中学生 63.7% (R3: 58.8%) 高校生 56.5% (R3: 64.6%) と、約 60% の子どもがリスクについて認識がある。一方で、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生 6.3% (R3: 6.6%) 高校生 10% (R3: 7.9%) と少なからず回答している。(子ども回答)
 - また、「会ったことがない人と、ネットでやり取りしたり、実際に会うのは危険があると思う」と感じる割合は、子どもに比べて保護者が著しく高い。
 - 「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、中学生 1 人・高校生 4 人が「送ったことがある」と回答している。しかし、同じ問いに保護者は中学生 1 人・高校生 0 人の回答で、子どもの自画撮り写真の送付について保護者が把握しているケースが少ない。また、小学生の保護者は 1 人が「送ったことがある」と回答している。
 - 「写真を要求されたことはあるが送っていない」子どもは、中学生 8 人・高校生 21 人の合計 29 人いるが、認識している保護者はともに 0 人で、子どもが自画撮り写真の要求を受けたことについて、保護者が把握しているケースは無い。
 - いわゆる「自画撮り」によりその後、性的被害に遭う等の事件に巻き込まれることを知っているかについて、中学生の 28.3% (R3: 33.4%)、高校生の 22.0% (R3: 11.5%) が「知らない」と回答し、「自画撮り」被害やその後、性的被害に遭う危険性を認識していない子どももいる。
 - 保護者でも、10% 程度が自画撮りにより性的被害に遭う等の事件が起きていることを認識していない。
- (7) フィルタリングの利用状況等
- フィルタリングを利用しているのは全体で 47.2% (R3: 47.6%) であり、令和 3 年度調査から 0.4 ポイント減少している。
 - 使用するフィルタリングは、「携帯電話事業者が提供するもの」が一番多く、アプリ対応のものが続いている。
 - 保護者の「子どものネット利用で気をつけていること」は、「家庭でルールを設ける」66.0% (R3: 67.1%) で一番多く、続いて、「子どもの使い方に関心を持つ」が 54.8% (R3: 57.9%)、「子どもの使い方を明細(金額・時間)や閲覧履歴で把握」が 47.8% (R3: 50.3%) であった。
 - 「特に気をつけていることはない」保護者も 3.3% (R3: 3.9%) いる。
- (8) 家庭でのルール
- 家庭でのルールについて、「ルールあり」と回答した保護者・子どもは中学生では増加しているが、小学生・高校生では減少している。高校生は、半数以上(55.8%)が「家庭でのルールがない」と回答している。
 - 全体として、「ルールあり」と回答した保護者は 73.6% いるが、子どもは 60.1% にとどまり、保護者と子どもで 13.5 ポイントの差がある。
 - ルールの内容は、保護者・子どもともに「利用する時間」が最も多く、「利用する内容」が続いている。
 - ルールが守られているかについては、子どもの 50.0% (R3: 54.9%) 保護者の 37.4% (R3: 41.4%) が「守られている」と回答し、減少傾向にあるが、「少し守られている」の回答を含めると、子どもの 85.6% (R3: 85.7%)、保護者の 77.9% (R3: 82.3%) が「ルールが守られている」と回答している。
 - 保護者が「ルールを決めていない」理由としては、半数以上の 54.1% が、「子どもに任せておいて大丈夫」をあげており、続いて 40.1% が「ルールを作っても守らない」と回答している。

～参考～

青少年の健全な育成に関する条例（昭和41年大分県条例第40号）【抜粋】

（青少年のインターネット接続機器利用に係る保護者等の責務）

第22条 保護者は、青少年有害情報フィルタリングソフトウェア又は青少年有害情報フィルタリングサービスの利用により、インターネットと接続する機能を有する機器を適切に管理し、青少年が当該機器を使用して青少年有害情報を閲覧し、又は視聴することがないように努めるとともに、青少年がインターネットを利用して違法な行為をし、又は自己若しくは他人に対し有害な行為をすることを防ぐため、青少年のインターネットの利用を適切に管理するように努めなければならない。

- 2 保護者は、家庭、地域その他の場において、インターネットの利用に関する青少年の健全な判断能力の育成を図るため、自らもインターネットの利用に伴う危険性及び過度の利用による弊害についての理解並びにこれらの除去に必要な知識の習得に努めるとともに、これらを踏まえて青少年とともにインターネットの利用に当たり遵守すべき事項を定めるなど適切な利用の確保に努めるものとする。

（児童ポルノ等の提供を求める行為の禁止）

第37条の2 何人も、青少年に対し、次に掲げる行為を行ってはならない。

- 1 青少年に拒まれたにもかかわらず、当該青少年に係る児童ポルノ等（児童買春、児童ポルノに係る行為等の規制及び処罰並びに児童の保護等に関する法律（平成11年法律第52号）第2条第3項に規定する児童ポルノ又は同法第7条第2項に規定する電磁的記録その他の記録をいう。次号において同じ。）の提供を行うように求めること。
- 2 青少年を威迫し、欺き、若しくは困惑させ、又は青少年に対し対償を供与し、若しくはその供与の約束をする方法により、当該青少年に係る児童ポルノ等の提供を行うように求めること。

令和4年度「青少年のネット利用実態調査」結果

1 青少年のインターネット利用機器・利用率

- 全体で95%以上の子どもたちがインターネットを利用している。
 ○ 利用機器は、小学生はテレビ、中学生・高校生ではスマートフォンが最も多い。
 ○ 小学生も半数以上がスマートフォンを利用している。
 ○ 小学生・中学生は、ゲーム機・テレビでのインターネット利用が増加している。
 ○ 保護者は、ほぼ全員の子どもがインターネットを利用していると認識している。

① 子ども回答

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		令和 4年度 n=505	令和 3年度 n=506	令和 2年度 n=519	令和 4年度 n=463	令和 3年度 n=454	令和 2年度 n=484	令和 4年度 n=508	令和 3年度 n=494	令和 2年度 n=509	令和 4年度 n=1476	令和 3年度 n=1454	令和 2年度 n=1512
1	スマートフォン	56.4	50.6	52.4	80.3	63.4	75.6	99.0	98.2	99.4	78.6	70.8	75.7
2	携帯電話	21.0	16.0	17.7	16.2	13.9	11.6	7.1	7.3	14.9	14.7	12.4	14.8
3	タブレット端末(iPad等・私物)	52.7	43.1	46.4	42.1	48.9	41.3	26.0	33.0	29.3	40.2	41.5	39.0
4	タブレット端末(学校貸与)				49.5	47.6		76.2	77.1		63.4	63.0	
5	パソコン	30.1	18.6	27.6	24.2	24.7	23.3	26.4	27.5	40.3	27.0	23.5	30.5
6	携帯音楽プレイヤー	8.1	7.1	8.7	8.6	8.1	10.5	5.1	9.1	7.3	7.2	8.1	8.8
7	ゲーム機	68.7	63.2	62.4	68.3	64.1	63.8	51.6	42.3	41.5	62.7	56.4	55.8
8	テレビ	69.9	62.3	58.4	66.5	61.5	64.0	53.0	58.9	49.9	63.0	60.9	57.3
9	インターネット利用機器はない	1.4	1.8	6.2	0.2	0.7	1.9	0.2	0.0	0.2	0.6	0.8	2.8
10	わからない	6.9	10.1	7.1	1.3	1.3	2.3	0.2	0.2	0.2	2.8	4.0	3.2
(再掲)	インターネット接続機器あり(利用率)	91.7	88.1	86.7	98.5	98.0	95.8	99.6	99.8	99.6	96.6	95.2	94.0

② 保護者回答

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		令和 4年度 n=428	令和 3年度 n=432	令和 2年度 n=449	令和 4年度 n=327	令和 3年度 n=406	令和 2年度 n=411	令和 4年度 n=412	令和 3年度 n=452	令和 2年度 n=472	令和 4年度 n=1167	令和 3年度 n=1290	令和 2年度 n=1330
1	スマートフォン	50.2	52.8	49.4	76.8	62.3	75.2	98.3	96.2	97.5	74.6	71.0	74.6
2	携帯電話	5.8	5.8	5.2	7.3	4.9	7.2	4.6	6.4	6.8	5.8	5.7	6.4
3	タブレット端末(iPad等・私物)	44.2	50.9	50.6	43.1	51.2	43.0	27.7	29.2	28.8	38.0	43.4	40.5
4	タブレット端末(学校貸与)	38.8	22.9		27.8	29.8		69.7	66.6		46.6	40.4	
5	パソコン	15.7	12.5	15.0	14.4	22.9	23.4	28.9	20.8	33.1	20.0	18.7	24.1
6	携帯音楽プレイヤー	0.7	0.5	1.6	2.1	3.4	5.0	3.4	5.1	4.7	2.1	3.0	3.8
7	ゲーム機	58.2	55.8	52.4	59.6	56.2	51.6	47.8	34.7	32.4	54.9	48.5	45.0
8	テレビ	47.9	37.5	37.6	37.6	26.6	24.6	30.8	26.5	21.6	39.0	30.2	27.8
9	インターネット利用機器はない	2.1	2.8	6.2	0.6	1.0	1.4	0.0	0.0	0.0	0.9	1.2	2.5
10	わからない	0.5	0.5	0.0	0.0	0.7	0.2	0.0	0.4	0.2	0.2	0.5	0.2
(再掲)	インターネット接続機器あり(利用率)	97.4	96.7	93.8	99.4	98.3	98.4	100.0	99.6	99.8	98.9	98.3	97.3

2 青少年のスマートフォンの利用について

- 中学生は70%以上、高校生はほぼ全員が自分専用のスマートフォンを利用している。
- 前年調査と比べて、自分専用のスマートフォンを利用している中学生が大きく増加している。
(R3:48.3%⇒R4:73.3%、参考:R2:71.7%)
- スマートフォンの利用開始時期は、高校生は「中学生から」が約半数となっているが、中学生は約4割が「小学生から」と回答している。

① スマートフォンの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=236	小5 n=269	小(計) n=505			
					n=460	n=508	n=1473
1	自分専用のもを利用	20.8	30.5	25.9	73.3	98.8	65.9
2	家族のもを利用	53.8	40.1	46.5	16.1	0.6	21.2
3	利用していない	18.2	27.1	23.0	10.7	0.6	11.4

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② スマートフォンの利用開始時期について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校
		小2	小5	小(計)		
					n=411	n=505
1	小学生より前				1.7	0.2
2	小学生				41.1	19.8
3	中学生				56.4	53.7
4	高校生					26.1

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和3年度調査分

① スマートフォンの利用について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=255	小5 n=247	小(計) n=502			
					n=447	n=492	n=1441
1	自分専用のもを利用	18.0	30.4	24.1	48.3	98.8	57.1
2	家族のもを利用	52.9	42.9	48.0	28.9	0.4	25.8
3	利用していない	22.4	25.1	23.7	22.8	0.8	15.6

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② スマートフォンの利用開始時期について(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校
		小2	小5	小(計)		
					n=345	n=488
1	小学生より前				1.4	0.4
2	小学生				53.6	17.8
3	中学生				43.8	48.4
4	高校生					33.4

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

3 青少年のインターネット利用内容

- インターネット利用内容は、小学生では、「ゲーム」「動画視聴」「音楽視聴」の順(昨年に同じ)に、中学生では、「動画視聴」「SNS」「情報検索」の順(昨年「動画視聴」「情報検索」「ゲーム」)に、高校生では、「動画視聴」「SNS」「情報検索」の順(昨年に同じ)に多くなっている。
- 年齢層が上がるにつれ、「SNS」の利用率が増加している。
- 利用するサービスは、「動画視聴」が最も多く、全体の85%以上が利用している。
- 利用しているソーシャルメディアは、中学生では「YouTube」「LINE」「Tic Tok」の順(昨年に同じ)に多く、高校生でも「LINE」「YouTube」「Instagram」の順(昨年に同じ)に多くなっている。
- 中学生で「LINE」(R3:67.8%⇒R4:82.3%)Instagram(R3:41.2%⇒R4:52.2%)Tik Tok(R3:56.1%⇒R4:62.6%)が増加している。
- スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに「分からないことを調べる、情報収集」「家族や友達との連絡手段」「趣味を楽しむ」「家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ」が上位であり、「暇つぶし」で利用している生徒も約6割程度いる。
- SNS利用時、中学生・高校生の約8割が、「他人の悪口を書いたり侮辱しない」「自分や他人の個人情報を書き込まない」等に気をつけている。
- SNS利用時、「特に気をつけていない」という子どももいる。

① 利用するサービス(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=233	小5 n=265	小(計) n=498			
1	SNS	21.5	37.7	30.1	77.9	91.5	66.4
2	動画視聴	65.7	86.4	76.7	92.2	91.7	86.8
3	音楽視聴	52.4	57.0	54.8	64.7	70.4	63.3
4	ゲーム	81.5	81.1	81.3	75.8	67.1	74.6
5	情報検索	27.9	71.3	51.0	76.4	75.0	67.3
6	ニュース	55.8	29.4	41.8	26.4	27.2	31.9
7	地図・ナビゲーション	19.7	15.5	17.5	29.7	33.9	27.0
8	電子書籍(読書)	24.9	15.8	20.1	28.6	28.8	25.8
9	ショッピング・オークション	27.5	8.7	17.5	13.2	24.1	18.4
10	お小遣いサイト				1.3	2.0	1.7
11	勉強のページやアプリ	31.3	42.3	37.1	11.3	12.4	20.4
12	動画をアップする	7.3	1.5	4.2	24.0	31.0	19.7
13	オンラインゲーム				49.1	44.2	46.5
14	ビデオ通話、Web会議などでのリアルタイムのやりとり				47.2	42.0	44.5

② 利用しているソーシャルメディアの種類(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=462	高校 n=507	全体 n=969
		小2	小5	小(計)			
1	LINE				82.3	98.8	90.9
2	Facebook				5.2	6.7	6.0
3	Twitter				28.4	57.0	43.3
4	Instagram				52.2	78.7	66.0
5	SNOW				29.0	32.3	30.8
6	17LIVE				0.4	0.6	0.5
7	YouTube				91.6	94.3	93.0
8	ツイキャス				6.1	8.5	7.3
9	MixChannel				0.0	1.2	0.6
10	ニコニコ動画・生放送				10.0	9.7	9.8
11	Tik Tok				62.6	64.5	63.6
12	Zenly				12.3	37.5	25.5
13	+メッセージ				14.1	14.6	14.3
14	Discord				13.0	22.7	18.1
15	カカオトーク				1.9	3.9	3.0
16	Skype				1.1	2.4	1.8
17	BoxFresh・Peing等 匿名質問アプリ				12.3	12.8	12.6
18	その他				2.6	1.6	2.1

③スマホ、ネットやアプリ等を利用する理由 (子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=462	高校 n=507	全体 n=969
		小2	小5	小(計)			
1	分からないことを調べる、情報収集				78.8	85.4	82.2
2	家族や友達との連絡手段				79.4	91.7	85.9
3	家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ				57.6	73.2	65.7
4	自分の活動を多くの人に知ってもらう				7.4	7.3	7.3
5	趣味を楽しむ				63.0	73.6	68.5
6	スケジュールを調整する				5.4	9.7	7.6
7	みんながやっているから				20.3	10.1	15.0
8	暇つぶし				65.2	61.7	63.4
9	お小遣いを稼ぐため				1.3	2.0	1.7
10	学校の宿題などをするため				8.7	14.4	11.7

④SNS利用時に気をつけていること(子ども回答) (令和2年度から掲載)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=462	高校 n=507	全体 n=969
		小2	小5	小(計)			
1	他人の悪口を書いたり侮辱しない				79.0	85.8	82.6
2	自分や他人の個人情報を書き込まない				76.0	85.0	80.7
3	他人の写真を勝手に投稿したり、拡散したりしない				65.6	70.4	68.1
4	他人の著作物を無断で使用しない				61.3	65.1	63.3
5	他人のIDやパスワードを利用しない				61.5	67.5	64.6
6	特に気をつけていない				6.5	4.5	5.5

4 青少年のインターネット利用時間

- 平日に2時間以上ネットを利用しているのは、小学生31.3%(R3:32.9%)、中学生62.8%(R3:46.4%)、高校生68.6%(R3:61.0%)であり、小学生は微減、中学生と高校生で増加している。
- 中学生は、「使わない・30分未満」「30分～1時間未満」「1時間～2時間未満」の項目が全て減少し、「2時間～3時間未満」「3時間～4時間未満」「4時間以上」の項目が全て増加しており、2時間以上の利用時間が全体で約16ポイント増加している。(子ども回答)
- 中学生と高校生とともに、昨年度に比べ、4時間以上の利用が顕著に増加している。(子ども回答)
- 保護者が把握している子どもの利用時間よりも実際の子どもの利用時間が多く、小学生で8.6ポイント、中学生では16.6ポイントの差がある。

① 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=233	小5 n=265	小(計) n=498			
1	使わない	18.5	4.2	10.8	1.3	0.6	4.3
2	30分未満	18.0	8.3	12.9	2.2	1.2	5.5
3	30分～1時間未満	26.2	20.0	22.9	8.2	6.5	12.6
4	1時間～2時間未満	21.5	23.0	22.3	25.5	23.3	23.7
5	2時間～3時間未満	6.0	21.9	14.5	29.0	29.8	24.3
6	3時間～4時間未満	3.0	10.6	7.0	12.8	18.3	12.7
7	4時間以上	6.4	12.8	9.8	21.0	20.5	17.0
(再掲)	2時間以上利用	15.4	45.3	31.3	62.8	68.6	54.0

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和3年度調査分 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=251	小5 n=246	小(計) n=497			
1	使わない	21.1	4.5	12.9	2.2	0.2	5.2
2	30分未満	17.5	7.7	12.7	8.4	1.4	7.5
3	30分～1時間未満	27.1	19.9	23.5	15.5	6.9	15.3
4	1時間～2時間未満	9.6	27.6	18.5	27.7	30.0	25.3
5	2時間～3時間未満	7.2	15.4	11.3	24.6	31.2	22.3
6	3時間～4時間未満	6.4	13.4	9.9	8.9	16.2	11.7
7	4時間以上	11.6	11.8	11.7	12.9	13.6	12.7
(再掲)	2時間以上利用	25.2	40.6	32.9	46.4	61.0	46.7

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② 平日の利用時間(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=419	n=325	n=412	n=1156
1	使わない	9.3	0.6	0.5	3.7
2	30分未満	15.3	4.6	2.2	7.6
3	30分～1時間未満	27.4	14.5	7.5	16.7
4	1時間～2時間未満	27.4	34.5	23.3	27.9
5	2時間～3時間未満	16.7	23.7	33.0	24.5
6	3時間～4時間未満	4.1	12.0	15.3	10.3
7	4時間以上	1.4	8.0	13.6	7.6
8	わからない	0.5	2.5	4.4	2.4
(再掲)	2時間以上利用	22.7	46.2	66.3	44.8

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和3年度調査分 平日の利用時間(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=420	n=402	n=452	n=1274
1	使わない	9.3	4.0	0.4	4.5
2	30分未満	16.9	9.0	2.0	9.1
3	30分～1時間未満	23.3	16.7	10.8	16.8
4	1時間～2時間未満	32.4	35.8	32.1	33.4
5	2時間～3時間未満	15.0	20.1	30.1	22.0
6	3時間～4時間未満	4.3	8.5	10.8	7.9
7	4時間以上	1.9	4.2	9.7	5.4
8	わからない	0.5	2.2	3.8	2.2
(再掲)	2時間以上利用	21.7	35.0	54.4	37.5

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

5 青少年のインターネット利用による生活の変化

- 子どもと保護者を比較すると、子どもの方がインターネット利用により「友人関係が良好になった」「友達が増えた」「分からないことを自分で調べるようになった」などと良い(プラス)傾向を示す回答が多い。
- 「使いすぎ・依存の傾向がある」と回答したのは、中学生が28.8%(R3:21.3%) 高校生が34.3%(R3:36.8%)で、保護者のうち、小学生が36.0%(R3:39.8%) 中学生が46.8%(R3:36.1%) 高校生が44.4%(R3:41.8%)であり、子どもの約3割、保護者の約4割はインターネット利用時間について課題意識を持っている。

① 子ども回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=462	高校 n=507	全体 n=969
		小2	小5	小(計)			
1	家族のコミュニケーションが増えた				24.5	14.2	19.1
2	家族のコミュニケーションが減った				14.5	13.2	13.8
3	成績が上がった				10.2	5.9	7.9
4	成績が下がった				17.5	13.6	15.5
5	睡眠不足になった				24.2	26.4	25.4
6	目が悪くなった				28.8	31.0	29.9
7	本を読まなくなった				19.5	21.1	20.3
8	テレビを見なくなった				28.1	41.2	35.0
9	友人関係が良好になった				44.4	37.1	40.6
10	友人関係を気にするようになった				13.6	10.3	11.9
11	友達が増えた				46.1	46.9	46.5
12	友達が減った				1.3	0.4	0.8
13	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになることがある				9.5	10.3	9.9
14	勉強に集中できない				16.5	15.2	15.8
15	使いすぎ・依存の傾向がある				28.8	34.3	31.7
16	分からないことを自分で調べるようになった				58.2	60.6	59.4
17	特に変わりはない				11.7	9.5	10.5
18	わからない				2.2	1.4	1.8

② 保護者回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=419	n=325	n=412	n=1156
1	家族のコミュニケーションが増えた	13.4	13.5	15.3	14.1
2	家族のコミュニケーションが減った	12.4	20.6	20.6	17.6
3	成績が上がった	2.9	2.2	3.2	2.8
4	成績が下がった	5.7	20.3	16.0	13.5
5	睡眠不足になった	9.3	28.3	31.6	22.6
6	目が悪くなった	20.3	28.3	30.1	26.0
7	本を読まなくなった	18.9	18.2	18.0	18.3
8	テレビを見なくなった	20.8	40.0	44.9	34.8
9	友人関係が良好になった	6.2	14.8	18.9	13.1
10	友人関係を気にするようになった	2.1	6.5	8.3	5.5
11	友達が増えた	3.1	12.9	20.9	12.2
12	友達が減った	0.2	1.2	0.7	0.7
13	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになることがある	3.1	8.0	5.3	5.3
14	勉強に集中できない	15.3	17.5	18.7	17.1
15	使いすぎ・依存の傾向がある	36.0	46.8	44.4	42.0
16	分からないことを自分で調べるようになった	21.5	32.9	38.3	30.7
17	特に変わりはない	24.8	10.8	10.0	15.6
18	わからない	1.7	1.5	2.2	1.8

6 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談

- 子ども・保護者ともに、約9割がトラブルの経験はないと回答している。
 ○ トラブルの内容のうち、子どもは、「知らない人やお店等からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた」「悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ」、「SNSなどやりとりで嫌な思いをした」が多い。

① ネット利用時の問題やトラブル(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=461	高校 n=506	全体 中高n=967/ 小中高n=1413
		小2 n=216	小5 n=260	小(計) n=476			
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	1.9	1.5	1.7	2.2	3.2	2.4
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	0.5	0.0	0.2	0.9	0.6	0.6
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	0.0	0.4	0.2	2.0	2.8	1.7
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ				0.2	0.2	0.2
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た				0.7	0.8	0.7
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	2.8	0.0	1.3	0.4	0.4	0.7
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした				0.0	0.0	0.0
8	知らない人やお店等からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた	4.2	1.2	2.5	1.7	3.4	2.6
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)				0.4	0.4	0.4
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)				1.1	0.6	0.8
11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDが使われた等)				0.7	1.2	0.9
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた				0.0	0.6	0.3
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	2.3	0.4	1.3	0.7	1.0	1.0
14	トラブルの経験はない	88.3	96.5	92.8	89.0	84.8	87.7

② ネット利用時の問題やトラブル(保護者回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=425	n=327	n=412	n=1164
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	0.5	2.1	3.6	2.1
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	0.5	1.8	0.5	0.9
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	0.2	3.4	4.4	2.6
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ	0.0	0.9	1.2	0.7
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た	0.5	0.6	0.0	0.3
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	0.7	0.9	1.0	0.9
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした	0.0	0.0	0.0	0.0
8	自分が知らない人やお店等からメッセージやメールが送られてきた	0.0	0.9	1.5	0.8
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)	0.0	0.3	0.0	0.1
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)	0.0	0.9	1.0	0.6
11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDが使われた等)	0.2	0.3	0.5	0.3
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた	0.0	0.0	0.0	0.0
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	0.0	0.0	0.0	0.0
14	トラブルの経験はない	97.4	87.9	86.3	90.7

- ネット利用時の相談先については、家族や友人が多い。
- 「消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察」への相談はない。
- 「トラブルはあるが誰にも相談しなかった」子どもが全体で21%いる。

③ ネット利用時の相談先(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=34	高校 n=38	全体 n=124 (6~7:n=72)
		小2 n=34	小5 n=18	小(計) n=52			
1	家族に相談した	55.9	50.0	53.8	41.2	42.1	46.8
2	学校の先生に相談した	2.9	5.6	3.8	14.7	23.7	12.9
3	友人に相談した	8.8	22.2	13.5	41.2	57.9	34.7
4	ネット上の友達に相談した	11.8	5.6	9.6	8.8	15.8	11.3
5	知り合いの大人に相談した	5.9	0.0	3.8	0.0	5.3	3.2
6	消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察				0.0	0.0	0.0
7	「Yahoo!知恵袋」や「教えて!goo」などの質問・相談サイト				2.9	7.9	5.6
8	トラブルはあるが誰にも相談しなかった	29.4	33.3	30.8	20.6	7.9	21.0

- 相談しなかった理由は、全体では「自己解決した」が最も多い。
- 中学生では、「相談するのが恥ずかしかった」「相談することで問題が大きくなると考えた」もあり、隠したがる傾向も見られる。

④ トラブル時に誰にも相談しなかった理由(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=7	高校 n=3	全体 n=10
		小2	小5	小(計)			
1	相談先がわからなかった				14.3	33.3	20.0
2	自己解決した				57.1	66.7	60.0
3	相談するのが恥ずかしかった				42.9	0.0	30.0
4	相談することで問題が大きくなると考えた				42.9	66.7	50.0

- 約3割の子どもが「解決していない」「分からない」と回答しており、トラブルの解決には至っていないものもある。

⑤ トラブルは解決しましたか(子ども回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校 n=34	高校 n=38	全体 n=124
		小2 n=34	小5 n=18	小(計) n=52			
1	解決した	47.1	66.7	53.8	76.5	71.1	65.3
2	解決していない	20.6	5.6	15.4	0.0	5.3	8.1
3	分からない	29.4	33.3	30.8	20.6	23.7	25.8

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

- 「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」子どもは、中学生34.8%(R3:32.4%)、高校生52.9%(R3:52.8%)であった。(子ども回答)
- 「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生3.2%・15人(R3:3.1%・14人)、高校生7.1%・36人(R3:5.3%・26人)、「異性に会った」が2.8%・13人(R3:0.9%・4人)、高校生5.3%・27人(R3:2.2%・11人)であった。
- 「会ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生7.1%・33人(R3:6.9%・31人)、高校生7.9%・40人(R3:6.1%・30人)であった。(子ども回答)
- 会ったことがない人とやりとりすることについて、「会ったことがない人と実際に会うのは危険だと思う」が、中学生63.7%(R3:58.8%)高校生56.5%(R3:64.6%)と、約60%の子どもがリスクについて認識がある。
- 一方で、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生6.3%(R3:6.6%)高校生10%(R3:7.9%)と少なからず回答している。(子ども回答)
- また、「会ったことがない人と、ネットでやり取りしたり、実際に会うのは危険だと思う」と感じる割合は、子どもに比べて保護者が著しく高い。

⑤-1 ネットで知り合った人とのやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校		中学校 n=462		高校 n=507		全体 n=969	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした			161	34.8	268	52.9	429	44.3
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った			15	3.2	36	7.1	51	5.3
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った			13	2.8	27	5.3	40	4.1
4	会ったことはないが、会いたいと思った			33	7.1	40	7.9	73	7.5
5	このような経験はない			288	62.3	231	45.6	519	53.6

⑤-2 子どもがネットで知り合った人とのやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校 n=428		中学校 n=327		高校 n=412		全体 n=1167	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした	8	1.9	47	14.4	88	21.4	143	12.3
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った	0	0.0	0	0.0	11	2.7	11	0.9
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った	0	0.0	0	0.0	8	1.9	8	0.7
4	会ったことはないが、会いたいと思った	0	0.0	5	1.5	10	2.4	15	1.3
5	このような経験はない	412	96.3	250	76.5	257	62.4	919	78.7
6	わからない	9	2.1	27	8.3	61	14.8	97	8.3

⑥-1 会ったことがない人とやりとりすること(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校		中学校 n=463		高校 n=508		全体 n=971	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う			83	17.9	118	23.2	201	20.7
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う			29	6.3	51	10.0	80	8.2
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う			169	36.5	120	23.6	289	29.8
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う			295	63.7	287	56.5	582	59.9
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う			33	7.1	17	3.3	50	5.1
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う			19	4.1	42	8.3	61	6.3
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う			9	1.9	10	2.0	19	2.0
8	わからない			64	13.8	43	8.5	107	11.0

⑥-2 子どもが会ったことがない人とやりとりすること(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校 n=428		中学校 n=327		高校 n=412		全体 n=1167	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う	2	0.5	17	5.2	20	4.9	39	3.3
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う	3	0.7	6	1.8	14	3.4	23	2.0
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う	312	72.9	240	73.4	250	60.7	802	68.7
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う	342	79.9	250	76.5	331	80.3	923	79.1
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う	54	12.6	40	12.2	32	7.8	126	10.8
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う	21	4.9	16	4.9	11	2.7	48	4.1
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う	2	0.5	0	0.0	1	0.2	3	0.3
8	わからない	16	3.7	13	4.0	15	3.6	44	3.8

- 「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、中学生1人・高校生4人が「送ったことがある」と回答している。しかし、同じ問いに保護者は、中学生1人・高校生0人の回答で、子どもの自撮り写真の送付について保護者が把握しているケースが少ない。また、小学生の保護者は1人が「送ったことがある」と回答している。
- 「写真を要求されたことはあるが送っていない」子どもは、中学生8人・高校生21人の合計29人いるが、認識している保護者はともに0人で、子どもが自撮り写真の要求を受けたことについて、保護者が把握しているケースは無い。
- いわゆる「自撮り」によりその後、性的被害に遭う等の事件に巻き込まれることを知っているかについて、中学生の28.3% (R3:34.4%) 高校生の22.0% (R3:11.5%) が「知らない」と回答し、「自撮り」被害やその後、性的被害に遭う危険性を認識していない子どももいる。
- 保護者でも、10%程度が自撮りにより性的被害に遭う等の事件が起きていることを認識していない。

⑦-1 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校		中学校 n=463		高校 n=508		全体 n=971	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある			1	0.2	4	0.8	5	0.5
2	写真を要求されたことはあるが送っていない			8	1.7	21	4.1	29	3.0
3	ない			452	97.6	482	94.9	934	96.2

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和3年度調査分 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校		中学校 n=454		高校 n=494		全体 n=948	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある			0	0.0	0	0.0	0	0.0
2	写真を要求されたことはあるが送っていない			11	2.4	15	3.0	26	2.7
3	ない			442	97.4	474	96.0	916	96.6

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑦-2 子どもが裸や下着姿の写真のやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校 n=427		中学校 n=327		高校 n=412		全体 n=1166	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある	1	0.2	1	0.3	0	0.0	2	0.2
2	写真を要求されたことはあるが送っていない	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
3	ない	421	98.6	308	94.2	360	87.4	1089	93.4
4	わからない	5	1.2	18	5.5	52	12.6	75	6.4

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

【参考】令和3年度調査分 裸や下着姿の写真のやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校 n=425		中学校 n=408		高校 n=452		全体 n=1285	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある	4	0.9	4	1.0	1	0.2	9	0.7
2	写真を要求されたことはあるが送っていない	0	0.0	2	0.5	1	0.2	3	0.2
3	ない	416	97.9	376	92.2	409	90.5	1201	93.5
4	わからない	5	1.2	26	6.4	41	9.1	72	5.6

注: 数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑧-1 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(子ども回答) 単位(人/%)

番号	内 容	小学校		中学校 n=463		高校 n=508		全体 n=971	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	知っている			330	71.3	396	78.0	726	74.8
2	知らない			131	28.3	112	22.0	243	25.0

⑧-2 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(保護者回答) 単位(人/%)

番号	内 容	小学校 n=426		中学校 n=325		高校 n=411		全体 n=1162	
		人	%	人	%	人	%	人	%
1	知っている	387	90.8	289	88.9	372	90.5	1048	90.2
2	知らない	39	9.2	36	11.1	39	9.5	114	9.8

7 フィルタリングの利用状況等

- フィルタリングを利用しているのは、全体で47.2%(R3:47.6%)であり、令和3年度調査から0.4ポイント減少している。
- 使用するフィルタリングは、「携帯電話事業者が提供するもの」が一番多く、アプリ対応のものが続いている。
- 保護者の「子どものネット利用で気をつけていること」は、「家庭でルールを設ける」66.0%(R3:67.1%)で一番多く、続いて、「子どもの使い方に関心を持つ」が54.8%(R3:57.9%)「子どもの使い方を明細(金額・時間)や閲覧履歴で把握」が47.8%(R3:50.3%)であった。「特に気をつけていることはない」保護者も3.3%(R3:3.9%)いる。

① フィルタリングの利用状況について(保護者回答)

単位(%)

番号	内容	小学校			中学校			高校			全体		
		令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度	令和4年度	令和3年度	令和2年度
		n=430	n=427	n=347	n=330	n=401	n=369	n=422	n=452	n=469	n=1182	n=1280	n=1185
1	利用している	38.6	37.5	48.7	51.5	42.6	51.2	52.6	61.5	51.4	47.2	47.6	50.5
2	利用していない	25.1	28.6	34.6	23.9	26.2	30.9	25.1	22.1	29.6	24.8	25.5	31.5
3	利用していたが解除した	1.4	0.9	1.2	5.2	4.5	7.3	12.8	7.1	8.5	6.5	4.2	6.0
4	わからない	12.6	13.6	18.2	13.0	12.5	12.5	9.2	8.6	11.3	11.5	11.5	13.7

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

② フィルタリングの種類(保護者回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=166	n=170	n=222	n=558
1	携帯電話事業者が提供するフィルタリング	54.8	78.2	85.6	74.2
2	Wi-Fi等の無線LAN対応フィルタリング	16.3	10.0	6.3	10.4
3	アプリ対応フィルタリング	31.3	22.9	10.8	20.6
4	よくわからない	6.6	2.4	4.5	4.5

③ 青少年のインターネット利用で気をつけていること(監督方法)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=428	n=327	n=412	n=1167
1	フィルタリング利用など、有害サイトへのアクセス制限	41.1	49.8	43.9	44.6
2	利用について家庭でルールを設ける	72.0	70.6	56.1	66.0
3	子どもがどのような使い方をしているか関心をもつ	51.4	61.5	52.9	54.8
4	インターネット利用のマナーや危険性を子どもと話し合う	25.5	32.7	24.8	27.2
5	子どもの使い方を明細(金額・時間)や閲覧履歴で把握	54.9	54.7	35.0	47.8
6	個人情報やパスワード等のプライバシー保護対策	33.6	42.2	39.3	38.0
7	ウイルス対策や不正アクセス対応	25.0	28.1	29.1	27.3
8	気をつけていることはない	0.7	2.8	6.3	3.3

8 家庭でのルール

- 家庭でのルールについて、「ルールあり」と回答した保護者・子どもは中学生では増加しているが、小学生・高校生では減少している。高校生は、半数以上(55.8%)が「家庭でのルールがない」と回答している。
- 全体として、「ルールあり」と回答した保護者は73.6%いるが、子どもは60.1%にとどまり、保護者と子どもで13.5ポイントの差がある。
- ルールの内容は、保護者・子どもともに「利用する時間」が最も多く、「利用する内容」が続いている。
- ルールが守られているかについては、子どもの50.0%(R3: 54.9%)、保護者の37.4%(R3: 41.4%)が「守られている」と回答し、減少傾向にあるが、「少し守られている」の回答を含めると、子どもの85.6%(R3: 85.7%)、保護者の77.9%(R3: 82.3%)が「ルールが守られている」と回答している。
- 保護者が「ルールを決めていない」理由としては、半数以上の54.1%が、「子どもに任せておいて大丈夫」をあげており、続いて40.1%が「ルールを作っても守らない」と回答している。

① 家庭のルールの有無(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
		n=236	n=268	n=504	n=459	n=507	n=1470
1	ルールあり	72.9	67.2	69.8	67.1	44.2	60.1
2	ルールなし	27.1	32.8	30.2	32.9	55.8	39.9

【参考】令和3年度調査分 家庭のルールの有無(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
		n=251	n=246	n=497	n=448	n=486	n=1431
1	ルールあり	78.9	80.1	79.5	61.8	47.3	63.0
2	ルールなし	21.1	19.9	20.5	38.2	52.7	37.0

② 家庭のルールの有無(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=423	n=327	n=412	n=1162
1	ルールあり	83.7	80.4	57.8	73.6
2	ルールなし	16.3	19.6	42.2	26.4

【参考】令和3年度調査分 家庭のルールの有無(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=418	n=392	n=442	n=1252
1	ルールあり	86.4	78.1	62.0	75.2
2	ルールなし	13.6	21.9	38.0	24.8

③ ルールの内容(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=172	小5 n=180	小(計) n=352			
					n=308	n=224	n=884
1	利用する時間	86.6	77.2	81.8	78.9	62.5	75.9
2	利用する金額	9.9	8.3	9.1	14.3	19.6	13.6
3	利用する場所	19.2	16.1	17.6	21.4	15.6	18.4
4	利用する内容	11.6	28.9	20.5	24.4	26.3	23.3
5	成績が下がったら使えない	5.8	5.0	5.4	27.3	19.6	16.6

④ ルールの内容(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=354	n=263	n=238	n=855
1	利用する時間	83.6	79.8	61.3	76.3
2	利用する金額	10.7	18.6	33.2	19.4
3	利用する場所	33.6	36.5	23.1	31.6
4	利用する内容	42.7	47.5	47.1	45.4
5	成績が下がったら使えない	6.5	36.1	30.7	22.3

⑤ ルールが守られているか(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=172	小5 n=180	小(計) n=352			
					n=308	n=224	n=884
1	守られている	59.9	52.8	56.3	41.2	52.2	50.0
2	少し守られている	28.5	32.2	30.4	42.2	34.8	35.6
3	あまり守られていない	3.5	8.3	6.0	11.4	9.8	8.8
4	ほとんど守られていない	4.7	2.8	3.7	3.6	1.3	3.1

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑥ ルールが守られているか(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校	中学校	高校	全体
		n=354	n=263	n=238	n=855
1	守られている	39.5	33.1	39.1	37.4
2	少し守られている	41.0	42.6	37.4	40.5
3	あまり守られていない	13.3	18.6	12.2	14.6
4	ほとんど守られていない	1.7	5.3	9.7	5.0

注:数値は、小数点以下第2位を四捨五入しているため、合計しても必ずしも100とはならない。

⑦ ルールを決めていない理由(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校	中学校	高校	全体
		n=69	n=64	n=174	n=307
1	子どもに任せておいて大丈夫	33.3	57.8	60.9	54.1
2	トラブルになると思わない	10.1	7.8	6.3	7.5
3	ルールを作っても守らない	36.2	48.4	38.5	40.1
4	ルールづくりが分からない	13.0	1.6	4.0	5.5
5	家庭内ルールを作ると保護者も守る必要がでてる	2.9	1.6	2.9	2.6